

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人

宮古地区いきいきワーキングセンター

1. 事業の成果

(1) 就労継続支援B型事業「ワークハウスアトリエSun」

- ・障がいのある人が地域の一員として活動し、職業生活における自立と社会参加の機会促進に寄与することを目的として「就労継続支援B型事業」を運営した。
- ・利用登録者数は20名（新規1名、退所者5名）、延利用者数は4,059名で前年度より50名減少した。1日当たりの利用者数は15.1名だった。
- ・給付費収入は33,409千円で、計画比では971千円の減少だった。
- ・就労継続支援事業は、菓子・手芸・受託部門で利用者の工賃向上に向け事業を行い、平均工賃は31,257円で前年度より1,312円増となった。

増加の要因としては、ミヤココのケーキセット、菓子のギフトセットやXmasケーキ販売が好調だったこと、かけあしの会からの受託作業が増えたこと、年3回のバザー収益が1.5倍に伸びたことがあげられる。

今後も社会情勢に合わせながら利用者の工賃向上に向けた取組みを継続し、生活支援や就労訓練を行っていききたい。

- ・10月に利用者交流会を実施し、利用者に「釜石」「岩泉」「重茂」の希望する行先を選んでもらいグループでの外出を行った。利用者が自分で行き先を選ぶことで満足度も高く、交流の機会として有意義な時間となった。
- ・第三者委員による相談会を年2回実施し、利用者全員が参加した。利用者が相談に慣れ、悩み事を率直に話す姿も見られた。寄せられた声は今後の支援や環境改善に活かしていきたい。
- ・苦情件数は0件だった。

◇ 利用者数の推移（延人数）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,115名	4,226名	4,098名	4,109名	4,059名

◇ 利用者工賃（1人当り/月）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
16,368円	18,917円	18,341円	29,945円	31,257円

※令和6年度より平均工賃計算方法が変更

◇ 給付費収入の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
30,253千円	31,336千円	30,392千円	33,813千円	33,409千円

(2) 日中一時支援事業 利用者はなかった。

(3) 放課後等デイサービス事業「ゆうやけ」

- ・学校や家庭とは異なる時間・人・空間等の中で過ごす過程や、遊び・体験の提供をとおして、生活能力の向上や生きる力が培われることを目的に「放課後等デイサービス」の運営を行った。児童が安心・安全で自分らしく過ごせる居場所となるよう環境設定に努めた。
- ・支援内容については支援プログラムに明記し、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの本人支援に加え、家族支援の提供を行った。
- ・年間開所日数250日、利用登録者数は8名（新規1名）、延べ利用者数は1,598名、1日あたりの利用者数は6.3名だった。
- ・給付費収入は16,615千円で、計画比では8,585千円の減少、前年比では6,970千円の減少だった。利用者数の減少、職員体制に伴う土曜日閉館により大きく収入を落とした。
- ・保護者間・兄弟間との交流を目的とした活動「親子レク」を12月に開催予定だったが、当日の津波注意報発令により安全を最優先とし中止とした。
- ・地域交流を目的とした活動「ハロウィン」を10月に実施し、地域の方との交流を図ることができた。
- ・事業運営の改善を目的に、自己評価（保護者評価・事業所評価）を実施した。評価内容については職員間で共有・討論し、是正改善に努めた。評価及び是正改善内容については、保護者への文書配布とホームページに掲載し公表している。
- ・苦情件数は0件だった。

◇ 利用者数の推移（延人数）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2,882名	2,451名	2,534名	2,206名	1,598名

◇ 給付費収入の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
25,566千円	21,983千円	22,897千円	23,331千円	16,615千円

◇ 実施した主な活動内容

創作活動、室内遊び、環境整備（畑・花壇）、買い物学習、調理、園外活動、ゴミ拾い活動
ハロウィン（地域交流）、水遊び、干し柿作り、クリスマス会、お正月遊び、避難訓練等

◇ 学校別利用登録者内訳（令和8年3月31日現在）

	小1	小3	小5	中2	高3	計
恵 風	1	1	2	1	2	7名
山 口 小			1			1名
計	1	1	3	1	2	8名

(4) 宮古市学童の家運営事業

- ・宮古市より「宮古養護学童の家」および「崎山学童の家」の業務指定を受け、放課後の有意義な活動をする場所の提供と、共働き家庭などの支援を目的として運営した。
- ・「宮古養護学童の家」の利用延人数は、前年度より1,206名増加し3,130名だった。
- ・「崎山学童の家」の利用延人数は、前年度より1,184名増加し11,535名だった。
- ・前年度より、宮古養護学童の家、崎山学童の家とも利用登録者数が昨年度より多くなり利用延人数が1,000名以上増加した。

◇ 利用者数の推移（延人数）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
宮古養護	1,913名	2,303名	1,945名	2,062名	1,924名	3,130名
崎 山	10,180名	12,234名	10,883名	10,430名	10,351名	11,535名

◇ 利用登録者内訳（令和8年3月31日現在）

宮古養護学童の家

小1	小3	小5	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
4名	2名	4名	2名	1名	2名	2名	1名	1名	19名

崎山学童の家

小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
19名	10名	18名	13名	7名	0名	67名

(5) リサイクル施設運転管理業務委託事業

- ・宮古地区広域行政組合よりリサイクル施設運転管理業務を54,450千円/年で受託し、リサイクル関連3施設の管理・運営を行った。
- ・本年度は業務期間5年間の長期継続契約の2年目にあたり、職員7名（1名3月末で退職の為、1名パート職員12名（うち障がい者9名）と派遣労働者数4人/日の体制で分別業務を実施した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：円)

定款の 事業名	事業内容	実施期間	実施場所	従業員 数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費
障がい者総合支援 法に基づく福祉 サービス事業	○ ワークハウスアトリエSun業務 障がい者就労継続支援B型事業	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	ワークハウスアトリエSun	7名	障がい者 開所280日 延4,059名	34,937,953
障がい者総合支援 法に基づく福祉 サービス事業	○ ワークハウスアトリエSun業務 日中一時支援事業	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	ワークハウスアトリエSun		障がい者 0名	0
児童福祉法 に基づく福祉 サービス事業	○ ゆうやけ 放課後等デイサービス事業	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	ゆうやけ	6名	障がい児 開所250日 延1,598名	21,317,553
公的施設の 管理運営事業	○ 宮古養護学童の家 指定管理者 宮古市学童の家運営業務	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	宮古養護 学童の家	6名	恵風支援学校 児童・生徒 開所288日 延3,130名	14,758,000
公的施設の 管理運営事業	○ 崎山学童の家 指定管理者 宮古市学童の家運営業務	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	崎 山 学童の家	8名	崎山小児童 開所286日 延11,535名	20,233,360
公的施設の 管理運営事業	○ リサイクル施設運転管理業務 宮古地区広域行政組合の 行う業務の受託	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	みやこ リサイクルセンター	19名	内障がい者 従業員 9名	54,005,849

3. その他

苦情受付体制として、「苦情解決事業実施要領」を制定し、各事業所には「苦情申出窓口」についての周知文書を掲示し「苦情相談受付箱」を設置した。

各事業所とも、苦情の申し出はなかった。